



原発ゼロに

遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



新潟県知事選挙、“8年間の公約を投げ捨てた”花角知事が3選 公約実行に厳しい目を注ごう！

2026年5月31日
新潟県知事選挙結果

| 氏名 | 得票数 | 得票率 |
|------|---------|---------|
| 花角英世 | 554,012 | 66.92% |
| 土田竜吾 | 230,721 | 27.87% |
| 安中 聡 | 43,089 | 5.21% |
| 合計 | 827,822 | 100.00% |

5月31日投開票の新潟県知事選挙は、別表のように現職の花角知事が3選されました。

日本共産党が自主支援した土田竜吾氏は健闘しましたが、出馬の遅れや知名度の低さなどで当選には至りませんでした。

当選後に花角氏が会見

当選後、花角知事は「8年間、県民の生活や健康を守ることには力を注ぎてきたつもり。安全で安心で暮らしやすい新潟県をめざしてきた。各地を回ると『地域と経済をもっと元気にしてくれ』の声を沢山もらった。

これからの4年間は、特に経済の成長、活力を生み出していける元気な新潟県づくりにしたい。若い世代の

多くが首都圏に就職しているが、魅力ある働き場所がある、やりたいことがあると選んでもらえる活気ある新潟経済をめざしたい。

市町村長などと連携し、コミュニケーションを図り、県選出国会議員の力も借りて、国とも上手に連携を図り、県政を前に進めていきたい。」と述べました。ぜひ人口減にストップをかけたほしいものです。

国直結太いパイプで地域の願い切り捨て、大幅に入院ベッドを減らした花角知事

●「地域医療再編」の名で全国に先駆けベッド削減を進めてきたのが花角知事です。地域住民の切実な願いに背を向けてきた反省があります。

長岡では、医師会や長岡赤十字病院、中央総合病院、立川総合病院などの協力で何とか救急医療体制が維持されていますが、医師や看護師などの人員不足や入院ベッドが削減されたり、赤字が拡大したりと大

変な状況になっています。

原発では公約投げ捨て

8年前、花角知事は原発再稼働は「県民に信を問う」公約を賭して「公約しました。昨年11月に公約を投げ捨て、県議会だけで再稼働を「容認」しました。

今年1月、柏崎刈羽原発は再稼働しましたが、数々トラブルが発生しており、

新潟水俣病の公式確認

から61年となる5月31日、新潟市で「新潟水俣病の歴史と教訓を伝えるつどい」が開かれました。新潟県などが主催し、被害者や環境省、自治体関係者など約90人が出席しました。

新潟水俣病阿賀野患者

の菅原ハルさん(86)は「こんな足はもういらな」と声に出すほど痛い、

こむら返りなど体の痛みや心の痛みに長年苦しんでいたことを知っ

遠藤れい子の笑顔でファイト

新潟水俣病公式確認から61年の式典

てほしいと訴え。「生きていくうちの解決」「水俣病になったけど、長生きしてよかった」と言えるように全被害者の早期救済を求めました。

式典前後には被害者団体が環境省と懇談しました。裁判で原告の多くが水俣病と認定され未救済の被害者が今も多数いる認識に立ち、認定基準や救済制度の抜本的見直し、医療・介護支援の充実などを求めました。(しんぶん赤旗より転載)

県民は不安の中になっています。

地震も頻発しています。

●地震も頻発しています。柏崎刈羽原発の安全対策、いざという時の避難路の確保など未整備での再稼働は大問題です。今後も厳しい監視が必要です。



平和のための
大手通りアクション